

平成30年度事業計画

全体活動事業

設立から23年目を迎えた当会は、他団体との連携と協働の強化とりわけ域内における「スポーツクラブ21ゆずり葉」、「逆瀬台小学校PTA」、「民生委員・児童委員」などと多様化した協働の場を拓ける。12自治会・2管理組合を中核とした役員会の議決機関と執行機関である事務局、活動支援局による2局体制を効果的に機能させ、地域コミュニティの創造的形成を推進していく。

(1) 平成30年4月29（日）に総会にかわる「平成30年度定時役員会」を開催する。

役員会は、奇数月に5役による役員会資料の作成と配布、偶数月の第1日曜日午前10時から役員会の開催を基本とする。（参考資料11頁の「役員会」の年間日程表を参照）。

(2) 「宝塚市まちづくり協議会代表者交流会」は、中村会長が出席する。

(3) ゆずり葉まつりは、秋祭りとして「逆瀬台小学校ゆずりは会」を支援し、前年度なみを行う。

(4) 2マンション管理組合への宝塚市自治会連合会への加入促進策。

全国的に地域主権が進む中、自治会結成と宝塚市自治会連合会への加入促進について、宝塚市と宝塚市自治会連合会による説明会が開催されれば参加する。

(5) 「地域ごとのまちづくり計画」は、見直しを行いコンサルタント会社2社の支援をうける。当会は「まちづくり計画見直し実行委員会」を設置する。また、単なる計画に終わらせないためにフォロー体制を強化する。（参考資料20～21頁の「地域ごとのまちづくり計画」を参照）。

事務局活動事業

(1) 広報委員

地域自治を担う組織づくりは、情宣活動が非常に大切である。情報の受・発信に努め住民にオープンな情報の伝達を図る。

① 広報紙の発行：年4回、B4版4面、カラー印刷で行う。

参考資料11頁の「ゆずり葉だより」の配布年間日程表によりCルームで各団体に広報紙を配布する。

② ポータルサイトの更新：<https://takarazuka-community.jp/list/yuzuriha10/>
ホームページの更新：<http://yzrh.exblog.jp/>

HP掲示板の更新：<http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs>

ブログの更新：<http://www.hnpo.comsapo.net/yuzuriha/>

③ Eメール：yuzurihacom@a.zaq.jp

(2) 書記委員

役員会の議事録を速やかに作成する。併せてブログは、紙ベースと違い情報量の制限もなく、多量でスピーディに配信出来る。アップデートして情報のオープン化と資料保存の確保を図る。

(3) 経理業務

出納・収支管理の他、予算管理や補助金等の資金調達活動も行う。

(4) 施設業務

コミュニティルーム等の運営業務を行い使用日の受付、使用料の徴収、鍵の管理等行う。

活動局活動支援事業

(1) 地域交流事業

- ① 自治会や老人会、福祉委員など活発な事業を行い、文化の高いまちづくりを形成する。
- ② 「白瀬川両岸集合住宅協議会」は毎月代議員が集まりコミュニケーション会議を行う。

(2) 子どもの健全育成・三世代交流事業

子ども・親・高齢者の異世代ふれあいを通して連帯意識を醸成する。野外で三世代のふれあい事業を実施し、子どもたちの健全育成を図る。

(3) 防災・防犯推進事業

災害の未然防止に防災訓練の参加や防災意識の高揚を図る。

児童の登校時、下校時に時間を合わせての散歩や植木の手入れなど児童の見守りを行う。

(4) 環境美化推進事業

「まちをきれいに」を合言葉に公園や川のクリーンハイキング、清掃活動を行う。

(5) ゆずり葉散策路整備事業

平成10年から始まった整備事業を継続して、豊かな自然を活かした身近な場所に四季折々の緑と花があり、高齢者・子ども家族揃って出来る「健康づくりの散策路整備」を行う。

「ゆずり葉散策路西逆瀬台口」の出入口を駐車場持主が違法構造物で封鎖しており、行政に対し市有地での不法投棄、設置した違法柵など撤去をまちづくり計画の一環として推進する。

(6) 健康福祉ネットワーク事業

高齢者福祉、子育て支援、特に一人暮らしの日常的な高齢者見守り活動や災害時の救助活動「災害時要援護者支援制度」、「安心生活創造事業制度」の取り組みと健康福祉ネットワーク事業を活性化する。

(7) エイジフレンドリーシティに向けて地域活動活性化への取組

超高齢化が進み、急坂の多いベッタタウンである当地は、高齢者にやさしいまちづくりを目指して地域の公園、花壇、裏山についてロードマップの利活用を図り、あらゆる多世代が「お互いさまがあふれるまちづくり」への実践活動を行う。

参考資料：

《 地域ごとのまちづくり計画を見直しました 》

平成22年7月30日付で宝塚市へ提出

計画書の提出後に実施されたものは削除済み

No	主体	施策内容
1	協働	ゆずり葉緑地からドングリふれあいの森・ヤマボウシふれあいの森、ガケ崩壊防止工事跡(緑と花づくりエリア)をネットワークする散策路を整備する。
2	行政	裏山ハイキングコースの一つである行者山の前山無名峰に住民募集によるネーミングを行い、国土地理院の地形図に記載出来るようにする。
3	行政	西宮市に抜ける県道明石神戸宝塚線に散策路としての歩道を新設し、国立公園・檜が峰、甲山森林公園、ゆずり葉散策路から行者山へのアクセスを強化し、阪急仁川駅より阪急宝塚駅に至る宝塚市西部ハイキングコースの整備を行う。
4	行政	ゆずり葉台分岐点から盤滝口交差点までのかつての歩行道路の復元を図る。
5	行政	ゆずり葉緑地の恵まれた自然の中でリフレッシュをもっと市民が楽しむために広域から人々の集まる場所であり、違法駐車解消のための駐車場の充実や北部地帯にトイレの新設をする。
6	協働	ゆずり葉緑地の恵まれた自然の中でリフレッシュをもっと市民が楽しむために広域から人々の集まる場所であり、ゴミ対策の美化看板の設置を行う。
7	行政	逆瀬川マンション北側から逆瀬台住宅に沿う白瀬川兩岸に散策路と護岸のモルタルを一定の間隔で露地を穿って植樹と花木・花草を植栽してアメニティロードとしていく。
8	協働	集合住宅内の市立公園と市設緑地の花壇植栽は、園芸愛好者サークルに開放し花壇を整備して市民の憩いの場とする。
9	協働	「コミュニティの部会」「グリーン逆瀬台」「花と緑の会」「青葉会」などの活動を中心に、地域住民がお互いに声を掛け合い、助け合って地域内公園、公共用地の樹木や花の補植、清掃等の居住環境の保全・育成や山の自然や散策路の維持管理、及び健康と美化を兼ねた散策活動の活性化に努める。
10	行政	深谷貯水池を周囲に桜木を植樹して花見の名所にするとともに、水にふれあえる公園として有効活用できるようにする。
11	行政	宝塚ゴルフ場の農薬散布に係る情報を定例的に行うよう要望する。
12	行政	小学校・中学校・高校の体育館や運動場・空教室、各集合住宅の集会所・体育施設を一定条件の下に地域住民に開放し、スポーツ活動・コミュニティ活動の活性化を図る。
13	協働	地域のコミュニティ活動の中心となる、「ゆずり葉コミュニティルーム」を更に一層有効活用するため、周辺的环境条件の充実、例えば必要最低限の駐車場新設や出入口等の整備を行う。
14	行政	併せて、参加者おさそい相乗り運動の実施や福祉タクシー乗り合い制度、ミニバス(100円バス)の導入を検討していく。
15	協働	自治会館の管理運営権の自治会への委譲を機に自治会館を地域住民のふれあいサロンとして活用して行く。
16	市民	地域の有志に、街かどふれあいスペース(蔵書の公開、オープンガーデン、趣味の品作品展など)を提供してもらい、地域住民間のふれあい・交流を活発にする。
17	協働	独居老人の意向をふまえながら、病弱、持病がある人や障害がある人達の希望をまとめ、緊急通報システムや買い物の手伝いなどの具体的な見守り運動を民生委員と連携して構築・展開する。
18	協働	空巣、痴漢、いたずら電話が多発していることから、防犯対策として、交番と警ら箱、警察官立寄り所の設置を要望するとともに防犯パトロールを強化する。児童の防犯に対しては、アトム110番の周知に努める。
19	行政	県道明石神戸宝塚線に沿ってマンション群があり、車の騒音が大きく、速度制限や看板の設置、警察官の配置などの騒音対策を行う。
20	協働	逆瀬台の住宅地内にあるバス通りは、周辺地域からの車の通り抜けが多く危険である。警察と連携のもと、スピード制限を遵守するよう安全対策、騒音防止活動を行う。
21	協働	逆瀬台1丁目の若瀬橋付近は、3道路が交差し、住宅街で見通しが悪い上に県道明石神戸宝塚線に通り抜けする車が非常に多いため、通学時は大変危険である。保護者の立ち番の他、警察官の交通整理など児童の安全対策を推進する。
22	行政	青葉台の④蔵人台共同墓地及び⑥市営西山霊園に、墓参のための駐車場の新設を行う。
23	行政	逆瀬台5丁目から共同墓地横を通り南口・逆瀬川方面への道路において、道路中央の部分が高くなっており、現在の停止ラインで止まっても逆瀬台方面から来る車は見えないので大変危険につき安全対策を行う。

No	主体	施 策 内 容
24	協働	路上駐車は、車椅子の障害となり、また見通しも悪くなるので、取り締まりを強化するよう警察署へ要望すると共に、地域独自のパトロール等に取り組む。
25	行政	県道明石神戸宝塚線は、荒地西山線が開通すると交通量がますます増大する。このため、白瀬川西詰から諭鶴羽橋北詰までの区間で、以下の4点について検討及び事業化を推進する。
26	行政	㊸3車線にして、右左折レーンの完全整備を行うこと。
27	行政	㊹南側沿いに幅広いグリーンカラーの歩道を設置すること。
28	行政	㊺その歩道区域は、常緑高木の緑地化とその樹間はベンチ等を置いて憩いの場とすること。
29	行政	㊻現在2カ所あるバス停に十分なポケットを設置すること。
30	協働	コミュニティ西側に広がる里山は宝塚市全体の貴重な自然であり、健康づくり活動とも連携しつつ、ボランティアな管理活動の推進を図る。
31	行政	県道明石神戸宝塚線やバス通りの沿道は、街並みの統一・街路樹の統一・瀟洒なデザインの街路燈設置、歩道の美装化など安全で快適な道路空間づくりに努める。
32	行政	逆瀬台1丁目から白瀬橋を渡った4丁目公園の正面入口付近は、夜間暗く通行が危険であるし、防犯上も問題がある。まちの入口にふさわしい瀟洒なデザインの街路燈を設置する。
33	協働	県道明石神戸宝塚線に沿う宝塚ゴルフ場の鉄柵フェンス・コンクリートポール・ネットはまちの景観を大きく損ねているため、ゴルフコースの設計を見直すなどしてこれらの撤去検討を要望していく。
34	市民	小学校、中学校の教育のなかで地域の魅力や問題点の発見学習を行い、まちづくりに対する意識や地域への愛着を育む。
35	市民	大人から積極的に子ども達に声をかける「あいさつ運動」を実施する。
36	市民	地域で活動している各種団体の交流会、情報交換のためのイベント等を開催する。
37	市民	地域内の様々な才能をもった住民に参加を呼びかけ、仮称「文化・技能祭」を開催し、音楽会や住民持ち寄りの作品展示・観賞等を通じ地域文化の発揚と交流を定着する。
38	市民	また、これらの方々を「人材バンク」として登録し、いざというときに活躍していただけるシステムをつくる。
39	市民	地域住民を対象としたまちづくり学習、講演会の開催、県・市などが主催するまちづくり研修会への派遣・参加を積極的に行う。また、他コミュニティや他自治体のまちづくり協議会と交流を行い、学習する。
40	市民	ミミズクポスト、ゆずり葉だより、ホームページの充実に努め、双方向の意見交換ができるシステムを検討する。
41	協働	「白瀬川の自然を育てる会」を発足させて、白瀬川の自然豊かでホテル鑑賞、自然観察などの住民が楽しめる環境に変貌させ、住民の交流の場づくりを目指す。

備考：施策番号の40番は、内容を要約しています。